

自然と心の豊かな故郷湯田学区

広報ふくら

第17号

平成26年11月 編集発行 浅井湯田地域づくり協議会 連絡先 湯田公民館 TEL74-1438・FAX74-1427

参加生徒36名の通学合宿終わる

お風呂の「もらい湯」を初めて実施

9月24(水)〜27日(土)の3泊4日にわたり第7回通学合宿が湯田公民館で実施されました。今年度は中学生の参加がなく、小学生のみ36名の参加で、これは過去7回の中で最大人数でした。

もらい湯の実施

今年最大の特色は、個人宅のお風呂をお借りする「もらい湯」を初めて実施したこと。一日目は公民館の風呂、二日目はあねがわ温泉でしたが、二日目の「もらい湯」は子供たちが個人宅のお風呂をお借りすることで礼儀やマナーを学び、家庭の雰囲気や違いを学ぶことも



第7回 湯田小・浅井中 通学合宿

意義があるという実行委員会での意見で実施されました。子供たちは風呂上りに梨とお茶をいただき、家族の皆さんと会話して有意義な時間を過ごしました。

「感謝」いっぱいのお別れ会

子供たちを指導する学生スタッフは、滋賀文教短大の幼児保育を専攻する10名(男子5、女子5名)の学生たちで、各班に男女1名ずつ5班に分かれて子供たちを指導しました。学生の熱心な指導と誠実さとやる気のお蔭で、子どもたちも心を通わせ、わずか4日間のふれあいですが、最終日の「まとめの会」では子どもたちが、スタッフの皆さんや学生そして親や家族に対する感謝いっぱいの感想文を発表しました。学生からも励ましと感謝の手紙、そして手作りの金メダルが一人ひとりの生徒に手渡されました。

指導としては、昨年に引き続き班会議の内容を模造紙に書いて張り出し、参加者全員が各班の話し合いの様子を共有するという方法がとられました。どの班も班目標が次第に向上し、高い目標となっていくことに気づかされました。

実施までの準備には6月28日から3回に亘って実行委員会を開き、また、実施期間中は延べ160人の方々がスタッフとして参加いただきました。借用した布団数50組、洗濯機も7台と桁違いの規模でした。特に食事の準備は、更生保護女性会や日赤奉仕団、健康推進員の皆さんに毎年お世話になっていますが、例年になく大人数の用意で大変ご苦労をされました。

大過なく無事終了しましたのもボランティアスタッフの皆様のお蔭です。ありがとうございました。

楽しさいっぱいのふくらの森 湯田小3年生が森の野外観察会



縄の木渡りで木から木へ



各自持参の長靴を履く



最初に近藤さんの話を聞く



どんぐりのおもちゃ作り



どんぐりの名前は？



出てきたシイタケの観察

久しぶりの秋晴れとなった10月15日(水)に湯田小学校3年生3クラスの児童75名が、各自長靴持参でふくらの森へやってきました。

最初に地域振興部会長の近藤秀之さんがふくらの森の大切さと再生活動や歴史について話をされ、その後クラス別に分かれ、どんぐりを拾ったり、ほだ木についたシイタケを観察したり、また10分ほど

の時間でしたが、森に作られた縄の木渡りやブランコをしたふくらの森は広葉樹の森で、特にどんぐりの木が多く、シンボルツリーの近辺を近藤さんや北川義象さんが案内され、子ども達は拾ったどんぐりの大きさや形を写真で見比べて、木の種類を学習しました。どの子どももどんぐりでポケットを膨らまして帰っていききました。

膨らまして帰っていききました。

第7回通学合宿写真館

2014年度通学合宿の写真を集めましたので
ご覧ください。

11月23日(日)に「プラザふくらの森」裏の広
場で第7回浅井湯田民祭りを開催します。その際建
物の東側廊下で、A4版に大きく引き伸ばした合宿写
真を多数展示します。是非ご覧ください。その後
は湯田公民館の入り口通路で展示します。



下校するとおやつ食べて宿題



茶碗を持ってご飯を盛りつけ



テレビもゲームもありません



ピアノを弾いてくれました



二日目はもらい湯〜♩



宿題できた〜?



朝はラジオ体操



座禅に行く途中で見た日の出



歩いて実宰院に到着



合掌してご本尊様にご挨拶



初めての座禅体験



足が痛いけど頑張る



思わず泣いた終わりの会



学生リーダーから一人ずつ言葉と手紙と金メダルをもらいました(*^-^*)

